



いよいよ春作業が本番です。
播種作業は田植時期と育苗日数を勘案し、計画的に行いましょう。

山形の米日本一推進運動 置賜地域本部

融雪が進み、これから本格的に育苗、本田作業が始まります。1ヶ月予報では、気温が平年より低くなる予報も出ていますので、特に無加温出芽では、ハウス、トンネル内の温度管理に注意しましょう。

【東北地方 1か月予報】	
4月5日～5月4日	
<気温の予報>	
4/5 ~ 4/11	: 平年並または低い確立 40%
4/12 ~ 4/18	: 平年並みの確立 40%
4/19 ~ 5/2	: 平年並の確立 40%

【育苗作業の目安】

- (1) 安定した収量品質を確保するため、田植え適期の目安を5月20日とし、遅くとも5月25日まで田植えができるような計画を立てましょう。

作業の晩限

	育苗日数	田植適期	播種	催芽	水漬け
稚苗	25日	5月20日	4月25日	4月24日	4月12日
中苗	35日		4月15日	4月14日	4月 2日

温度管理に注意!



- (2) 初期生育を確保するため、栽植密度は最低でも「70株/坪」にしましょう。

【育苗期間の温度管理】

	出芽	緑化期	緑化期以降
加温出芽	30～32	昼間25	昼間30 以上にならないように換気しましょう。
無加温出芽	低温年には出芽まで日数を多く要するので温度管理に注意しましょう。被覆資材の特性をよく理解して保温対策を行いましょう。	夜間15	夜間は8 以上としましょう。

- (1) 低温・霜注意報などに注意し、適切な温度管理を行いましょう。また日差しがある時はハウス内の温度と外気温には大きな差があります。苗を焼かないように注意しましょう。

【本田の準備】

- (1) 融雪後は、溝掘りを行うなど排水対策を行い、圃場の乾燥を促しましょう。
- (2) 畦畔の補修や、圃場の大きな凹凸には土を運んで均平を図りましょう。

【土壌分析に基づく土づくり肥料の散布】

平成24年、全農山形県本部が「つや姫」ほ場の土壌分析を実施したところ(置賜地域で614点) 次のような傾向がありました。

- (1) 土壌PHが低い(酸性化している)
- (2) ケイ酸が不足している

○このため、土づくり資材(特にケイ酸)を積極的に投入し土壌改良を行いましょう。
【施用量の目安:ケイカル120kg/10a】

《農作業安全》 4月10日～6月10日 春季農作業事故防止運動展開中

春作業の忙しい今期には例年痛ましい事故の発生がみられます。あせらず・きままず・安全を確認して作業を行いましょう。

ストップ! 農作業事故!

